

平成26年度 共同実施推進会議

平成27年1月19日(月)、学校生協会館に於いて共同実施推進会議が開催されました。県教委より篠崎管理主事、宇都宮市教委より小林係長にお越しいただき、県内各市町の共同実施推進リーダーなど76名ほどが参加しました。

従来は共同実施校連絡会議として実施していたものを、今回より共同実施推進会議として実施することとし、これまでの研究加配校からの報告・連絡・協議から、共同実施を実行推進していくための実行会議という位置づけで行いました。



- 目的**
- 共同実施の全県実施を目指し、導入に向けての課題を整理し、その解決策を検討し実践を図る。
 - 共同実施を含めた組織リーダー（事務長制の活用）のあり方やその育成を図る。

午前中は、5班に分かれグループ協議が行われました。共同実施を導入するための課題整理、課題解決に向けての具体策、ステージを上げていくための方策や析事研、市町事務研の役割と連携など、ステップアップに向け積極的に、活発な議論が行われました。



午後は、リーダー研修として、兵庫教育大学藤本孝治教授を講師にお招きし「これからの教育と学校マネジメント」と題し講演をいただきました。

講演では、学校を取り巻く様々な教育課題や教育長、校長などのリーダーに求められる力量など、事務職員にも共通するものとしてワークシートを使いながら説明いただきました。



ワークシートでは、『みんなが行きたくくなるような学校とは？』について意見交換を行いました。綺麗な学校や、いじめのない学校、指導が安定している学校、などの意見が出ました。

次に、いじめや不登校など学校を取り巻く教育課題について説明され、これからの教育に必要な改革の中で、リーダーに求められる力は、対課題行動と対人行動であると述べられました。課題の解決として、ワークシートを使用し、「現状を把握するために必要な情報内容」と「入手方法」について話し合いました。

続いて、地域とともにある学校について、山口県の現状などを説明され、地域の力をもっと取り入れるべきであり、そのためにはどのようにすべきか話し合うべきである、また、事務職員が地域との接着剤になるなど、それぞれの力が重要であると述べられました。

最後に、「様々な学校課題を解決していくための情報を収集し、分析による現状把握をしっかり行っていくことが大切である。」とのお話がありました。

<<まとめの会>>



まとめの会では、吉田副会長から「藤本先生の「あるべき姿」ではなく、「ありたい姿」という言葉に感覚的にホッとした。課題を「～べきこと」と考えてしまうため取り組みにくく感じることと同じ。言葉を変換して考えてみたらどうかと思った。今日の研修がスタートとし、共同実施について考え、実行してほしい。何かひとつでも「気づき」があったなら、それをぜひ実行に向けて取り組んでほしい。」との言葉がありました。

岡崎会長からは「これまでと違い、“推進会議”として位置づけ、一日日程で実施した。今日の会議を受け、各支部での実践に結びつけていただきたい。リーフレットも活用してさらなるステップアップを図っていただきたい。共同実施について、事務職員制度の安定のために。職務としての確立のための手段として考えてほしい。そのために、栃事研はどのような形であってもお手伝いしていくつもりです。」とのまとめの言葉があり、終了となりました。

